



アジア・オセアニア 高校生フォーラム①

「世界との対話と協働・アジア・オセアニア高校生フォーラム」は、和歌山県内外の高校生とアジア・オセアニアの国や地域の高校生が、共に世界共通の課題についての意見交換・プレゼンテーション・文化紹介等を通じ、グローバル社会で活躍できるリーダーを育成することを目的に、平成二十七年より実施されています。

今年度は七月二十五日(月)から二十七日(水)の3日間、オンラインで開催されました。本校からは、2年生の5人が参加しました。すべてのプログラムは英語でおこなわれました。

芝 帆花さんは七月二十五日の津波・防災対策の分科会で自然災害が起こったときの一時災害と二次災害によってもたらされる被害とその予防について発表しました。一時災害の対策として

- ・ 日頃からの避難準備の重要性
- ・ 正常性バイアスを捨てること
- ・ 二次災害の対策として
- ・ こころのケアやリハビリを計画的に避難所に取り入れること

などを提案し、参加している他校の生徒や、アジア・オセアニア地域の外国の生徒と質疑応答して考えを深めました。

災害時に生き抜くための心構え

二年六組 芝 帆花

今回、私は津波・防災について調べ、分科会で発表し、海外の方たちと英語で積極的に交流することが出来たと思います。

初めは、海外の方と英語で交流する機会はなかなかなかったので、自分のプレゼンが英語を通してうまく伝えることができるのか緊張していました。オンラインで色々な人と交流できる期待感のほうが大きかったです。

このフォーラムで英語で話すことの楽しさを改めて感じる事ができました。自分の発言に対して、皆さんがうなずいてくれたり、すぐに反応してくれたことがとてもうれしかったです。

また、分科会の発表だけではなく、全体会準備の意見交流では、皆さんの様々な考えを聞くことができ、良い刺激を受けました。

自分の伝えたいことやその時の感情を即座に英語で表現できるよう

うに、これから英語力を高められるよう努力しようと思います。

タイムテーブル

- 七月二十五日(月)
- ・ 開会式
- ・ 分科会
- 七月二十六日(火)
- ・ 分科会
- ・ ディスカッション
- 七月二十七日(水)
- ・ 分科会まとめと発表
- ・ 全体会
- ・ 閉会式

SGH

